

株主の皆さまへ

第71期報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

証券コード：1945

Q'd
どこまでも
クオリティオリエンティッド

株式会社 東京エネシス
TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.



Q'd

Quality Oriented

Q'd(キュード)は、「どこまでもQuality Oriented」でありたいという考えを表したものです。Q'dとは、お客さまのために、社会のためにより良い提案をしていきたいと誓い合う言葉でもあります。

その思いを胸に、長年電力設備で培った現場技術力を、次の解決力へ

ENERGY × SOLUTION



私たちは電力設備の設計から建設、
保守まで一貫施工を可能にする
技術力を持つ企業として高い信頼を得て、
暮らしの基盤づくりに広く貢献しています。



株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第71期の報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は、今年度、「東京エネシスグループ経営ビジョン」を改定いたしました。ここには、以下の3点をビジョンとして掲げ、将来へ向けて事業領域を広げ、成長していくという当社グループが「目指す姿」、「ありたい姿」をより強くイメージできるものいたしました。

- ◆ 私たちはグローバルな視点にたつて
「成長し続ける企業」を目指します
- ◆ 私たちはお客さまのニーズをとらえ
「期待を超えるクオリティ」を届けます
- ◆ 私たちは知恵と情熱をもって
「多様な技術の修得・研鑽」を続けます

これを踏まえ、「2018年度中期経営計画」を策定し、経営目標達成に向け、「事業領域の確保・拡大」、「利益を継続的に生み出せる企業体質への変革」、「人と技術の育成・強化」、「社会的責任を果たす行動の実践」、「福島復興への継続的貢献」の5つの施策をグループ大で取り組んでまいる所存であります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

熊谷 努

事業の概況・業績の推移(連結)

事業の概況

当期におけるわが国経済は、海外輸出の増加や堅調な雇用・所得環境を背景として個人消費が底堅く推移したこと等により、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの経営環境は、このように国内経済が持ち直し、省エネ化・効率化等を中心とした民間設備投資が堅調に推移する一方で、電力自由化による地域を越えた競争の激化に伴う電力会社の徹底した合理化が進んでおり、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、既存事業領域を堅持するとともに、保有する技術・技能を発揮できる分野へ事業領域を拡大すべく果敢に挑戦してまいりました。

具体的には、各火力・原子力・水力発電所の点検手入工事や修理工事、福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務や福島復興関連業務、原子力発電所の安全対策関連工事、更に石油化学プラントの発電設備関連工事、コージェネレーション関連工事、大型の太陽光発電設備設置工事等において、受注・売上の確保・拡大と利益の創出に全社を挙げて取り組んでまいりました。

この結果、受注高は、原子力発電所の安全対策関連工事等の受注により、702億55百万円(前期比6.2%増)となりましたが、売上高は、原子力発電所や太陽光発電設備に係る一部工事の繰り延べ等により、687億9百万円(前期比6.6%減)となりました。

利益面につきましては、原価低減の徹底等に努めてまいりましたが、売上高の減少及び一部

大型工事における追加費用の発生等により、営業利益は42億5百万円(前期比27.9%減)、経常利益は43億56百万円(前期比26.8%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、29億4百万円(前期比28.4%減)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、堅調な企業業績を背景に、設備更新や省力化を中心に民間設備投資が増加傾向にある一方で、電力会社が発電所メンテナンスの効率化や更なるコストダウン要請等を実施することから、当社グループにとって厳しい受注環境が続くものと予想されま

す。このような状況の中、当社は、グループの価値を将来にわたり拡大していくことを目指し、本年4月から新たな中期経営計画(2018年度から2020年度まで)をスタートさせ、「収益構造の多様化と組織力の最大化による持続的な成長・拡大」を最重点課題に取り組んでまいります。

また、当社グループは、経営環境の変化に迅速に対応できる体制を構築し、多様な技術の修得と研鑽を続け、施工・営業が一体となった営業活動を展開することで、既存領域を堅持するとともに更なる新規顧客の獲得と事業領域の拡大に注力してまいります。

事業領域の裾野を広げるため、全国で展開されている新電力事業者等による発電設備、コージェネレーションシステムや空調設備、太陽光に限らず地熱・小水力・バイオマス・風力等の

再生可能エネルギー設備の工事にも積極的に営業展開してまいります。福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務や福島復興への取組みにつきましても、当社グループの役割を果たしてまいります。

また、工事の生産性向上につながる情報通信技術（ICT、IoT）やロボット等の活用を積極的に推進するとともに、業務の効率化、スリム化等を実施し、より強靱な企業体質へ変革させてまいります。

今後とも当社グループは、「暮らしのより確かな基盤をつくる」という理念のもと、工事の安全・品質の確保を最優先に取り組み、全社を挙げて継続的な発展と企業価値の向上を実現してまいります。また、当社グループが社会から信頼され続けるために働き方改革、女性活躍推進策を展開するとともに、従業員一人ひとりが基本ルールの遵守と誠実な行動に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、平成30年度の配当につきましては、1株につき22円（中間配当金11円、期末配当金11円）を予定しております。

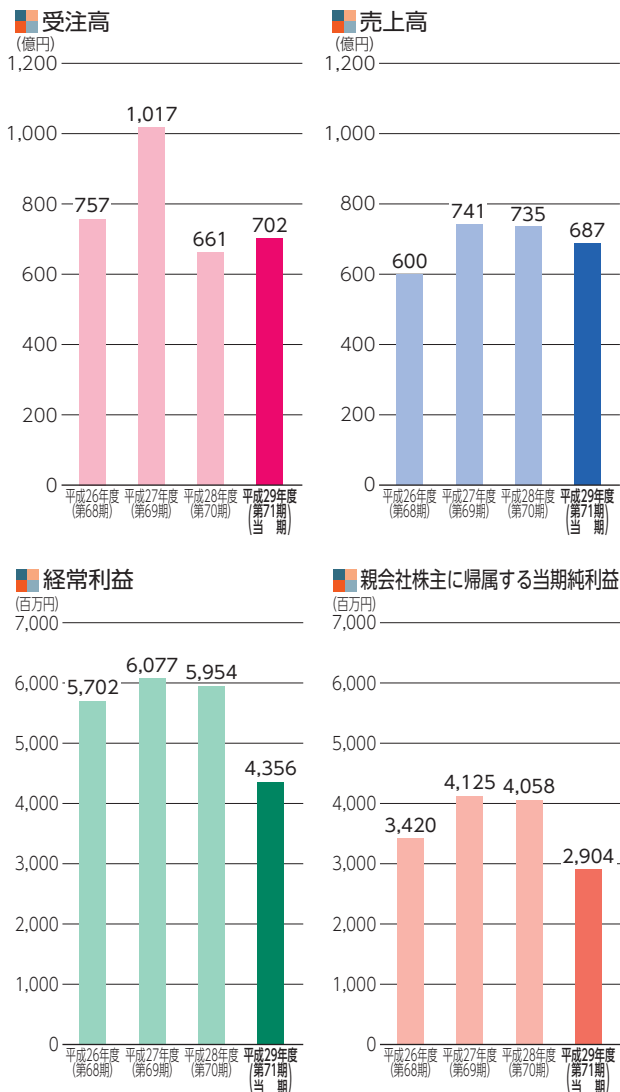
平成30年度(第72期)業績予想(連結)

(単位:百万円)

売上高	71,000
経常利益	5,300
親会社株主に帰属する当期純利益	3,600

(注)業績予想につきましては、平成30年4月27日に発表したものであり、今後さまざまな要因により、異なる結果となる場合があります。

業績の推移(連結)



東京エネシスグループ経営ビジョン

エネルギーを「つくる」「つかう」、それを「つなぐ」システムを支え「暮らしのより確かな基盤をつくる」ことで豊かな社会づくりに貢献します

- ◆ 私たちはグローバルな視点にたって「成長し続ける企業」を目指します
- ◆ 私たちはお客さまのニーズをとらえ「期待を超えるクオリティ」を届けます
- ◆ 私たちは知恵と情熱をもって「多様な技術の修得・研鑽」を続けます

そのために一人ひとりが自らの役割を自覚し、以下の原則のもと行動します

< 行動原則 >

安全をすべてに優先します

技術を高めて新しい課題に挑戦します

お客さまの立場にたって考えます

高い倫理観を持ち誠実に対応します

2018年度中期経営計画（2018年度～2020年度）

- I. 事業領域の確保・拡大
- II. 利益を継続的に生み出せる企業体質への変革
- III. 人と技術の育成・強化
- IV. 社会的責任を果たす行動の実践
- V. 福島復興への継続的貢献

2018年度中期経営計画期間の連結業績目標（3ヵ年平均）

受注高	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
730億円程度	730億円程度	55億円程度	55億円程度	40億円程度

現場での課題解決に向けて — 技術開発活動 —



協働ロボットによるボルト磨き機のデモンストレーション

当社は、発電所の建設やメンテナンス等の作業効率等を改善し、全社にその技術を共有するために技術開発改善発表会を開催しております。作業現場で抱える問題に対して、従来の発想にとらわれないアイデアを出し合い、作業量の削減や環境改善、工程短縮等の成果を上げています。また、昨年同様、次世代火力発電EXPOに「遠隔操作式監視装置」等の当社の技術開発品や協働ロボットによる「ボルト磨き機」のデモンストレーション等を展示し、来場者からの関心を得ております。

今後も情報通信技術（ICT、IoT）やロボット等を積極的に活用し、生産性の向上に努めてまいります。



360°カメラを搭載した遠隔操作式監視装置



遠隔操作式監視装置をデモ操作

決算概要(連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)	科 目	当 期 (平成30年3月31日現在)	前 期 (平成29年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	58,629	54,661	流動負債	17,051	14,934
現金預金	3,951	3,835	支払手形・工事未払金等	6,247	8,814
受取手形・ 完成工事未収入金等	31,225	38,437	短期借入金	149	149
有価証券	13,999	2,999	未払法人税等	1,893	176
未成工事支出金	5,398	3,135	未成工事受入金	705	678
繰延税金資産	1,569	802	完成工事補償引当金	15	41
その他	2,488	5,451	工事損失引当金	2,872	730
貸倒引当金	△1	－	その他	5,168	4,342
固定資産	24,816	24,204	固定負債	7,753	7,794
有形固定資産	(16,633)	(16,954)	長期借入金	711	897
建物・構築物	7,632	7,998	繰延税金負債	3	15
機械・運搬具	924	993	退職給付に係る負債	6,650	6,501
工具器具・備品	442	513	資産除去債務	312	307
土地	7,405	7,414	その他	75	72
リース資産	21	34	負債合計	24,805	22,728
建設仮勘定	206	－	(純資産の部)		
無形固定資産	(326)	(498)	株主資本	56,568	54,402
投資その他の資産	(7,856)	(6,751)	資本金	2,881	2,881
投資有価証券	6,589	5,266	資本剰余金	3,965	3,965
繰延税金資産	1,085	1,290	利益剰余金	52,104	50,055
その他	256	310	自己株式	△2,382	△2,499
貸倒引当金	△75	△115	その他の包括利益累計額	2,072	1,735
資産合計	83,446	78,866	その他有価証券評価差額金	2,072	1,735
			純資産合計	58,641	56,138
			負債・純資産合計	83,446	78,866

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
売 上 高	68,709	73,558
売 上 原 価	60,467	63,528
売 上 総 利 益	8,242	10,029
販売費及び一般管理費	4,036	4,192
営 業 利 益	4,205	5,836
営 業 外 収 益	160	125
営 業 外 費 用	8	7
経 常 利 益	4,356	5,954
特 別 利 益	23	1,083
特 別 損 失	49	1,128
税金等調整前当期純利益	4,330	5,909
法人税、住民税及び事業税	2,148	782
法 人 税 等 調 整 額	△723	1,068
当 期 純 利 益	2,904	4,058
親会社株主に帰属する当期純利益	2,904	4,058

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで)	(平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	13,550	△1,311
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△1,518	538
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△926	△2,265
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の 増 減 額	11,105	△3,038
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	6,785	10,231
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	△408
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	17,890	6,785

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	当 期 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)						その他の包括 利益累計額	純資産合計
	株 主 資 本					株主資本 合 計		
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式				
当 期 首 残 高	2,881	3,965	50,055	△2,499	54,402	1,735	56,138	
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額								
剰 余 金 の 配 当	—	—	△855	—	△855	—	△855	
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,904	—	2,904	—	2,904	
自 己 株 式 の 取 得	—	—	—	△0	△0	—	△0	
自 己 株 式 の 処 分	—	0	—	116	116	—	116	
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	337	337	
連 結 会 計 年 度 中 の 変 動 額 合 計	—	0	2,049	116	2,166	337	2,503	
当 期 末 残 高	2,881	3,965	52,104	△2,382	56,568	2,072	58,641	

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

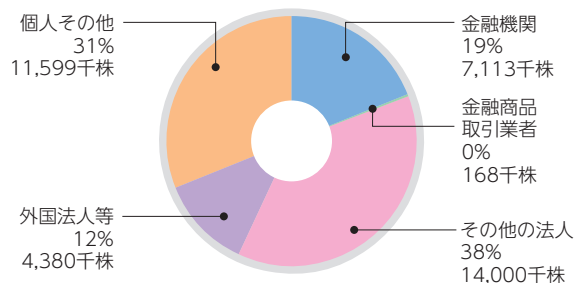
株式数 発行可能株式総数 72,589,000株
 発行済株式の総数 37,261,752株
 株主数 3,237名

大株主

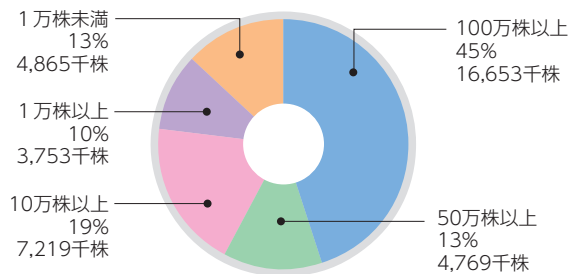
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東京電力ホールディングス株式会社	9,064	26.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,891	5.53
東京エネシス社員持株会	1,469	4.30
株式会社インフォサービス	1,182	3.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	830	2.43
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	725	2.12
太平電業株式会社	700	2.05
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	699	2.04
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	688	2.01
新日本空調株式会社	600	1.75

(注) 当社は、自己株式3,044千株を保有しておりますが、上記大株主への記載及び持株比率の計算から除いております。

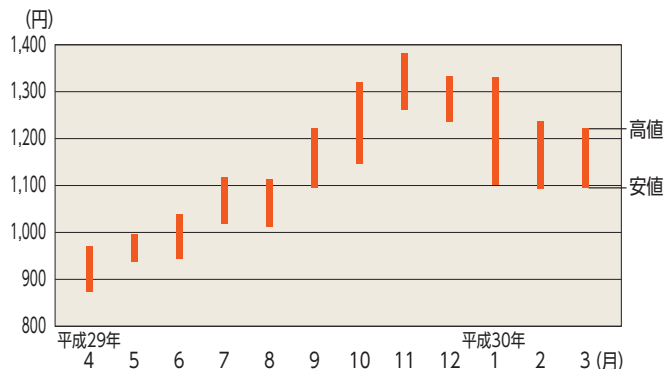
所有者別株式分布状況



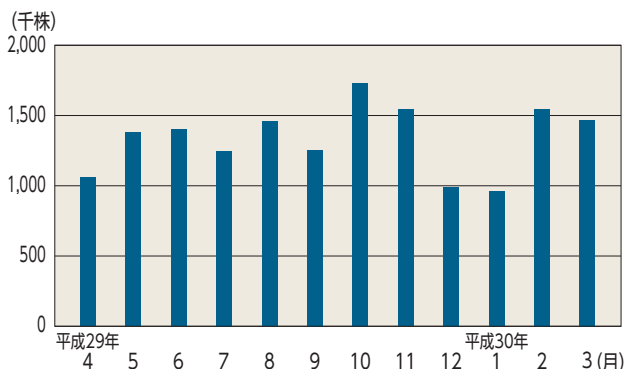
所有株式数別株式分布状況



株価の推移 (平成29年4月～平成30年3月)



株式売買高の推移 (平成29年4月～平成30年3月)



会社概要 (平成30年3月31日現在)

商号 株式会社 東京エネシス
英文名称 TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.
本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目3番1号
設立 昭和22年8月14日
資本金 28億81百万円
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 1945)
従業員数 1,489名 (連結) 1,370名 (個別)
営業種目

1. 発電電・送配電設備及び一般電気工作物の設計並びに施工
2. 情報通信設備の設計並びに施工
3. 化学機械・水処理設備その他設備の設計並びに施工
4. 土木建築工事の設計並びに施工
5. 上記に付帯する機械器具及び材料の製造並びに販売、賃貸借、保守管理
6. 電気供給事業
7. 労働者派遣事業
8. 不動産の売買及び賃貸借並びに管理

事業所

京 浜 支 社 神奈川県横浜市鶴見区大黒町11-1

千 葉 支 社 千葉県市原市五井6256-1

茨 城 支 社 茨城県ひたちなか市西光地2-23-5

福 島 総 合 支 社 福島県双葉郡大熊町大字熊字錦台180-1

新 潟 支 社 新潟県柏崎市青山町字青山9-4

青 森 支 社 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字弥栄平1-5

溶接・検査センター 千葉県千葉市中央区蘇我町2-1369

役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長
 社長執行役員 熊 谷 努

取締役
 常務執行役員 泊 裕 之

取締役
 常務執行役員 篠 原 宏 昭

取締役
 常務執行役員 小 林 隆

取締役
 常務執行役員 猿 渡 辰

取締役
 常務執行役員 海 野 裕 之

取締役 田 中 等

取締役 阪 本 吉 秀

常勤監査役 菅 沼 希 一

常勤監査役 椎 名 真 司

監査役 田 中 豊

監査役 武 谷 典 昭

グループ会社

会社名	資本金	主要な事業内容
東工企業株式会社	100百万円	不動産の賃貸及び管理並びに電線類の売買
株式会社バイコム	10百万円	機械装置・工具・車両等の賃貸及び売買
株式会社テクノ東京	30百万円	発電設備の工事の請負
東工電設株式会社	20百万円	発電設備・変電設備の工事の請負
株式会社東輝	10百万円	損害保険代理業

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告 (http://www.qtes.co.jp/) による。 ただし、電子公告によることができない場合は 日本経済新聞に掲載する。

お知らせ

- 当社株式に関する手続き（住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種）につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の電話及びホームページで承っております。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【当社ホームページのご案内】

当社ホームページでは、最新の会社情報をはじめトピックス、IR情報等さまざまな情報を掲載しております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひご覧ください。



ホームページアドレス

<http://www.qtes.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

